

平成 31 年度（令和元年度）
自己点検評価及び学校関係者評価 報告書



沖縄福祉保育専門学校

まえがき

学校法人大庭学園は、1948年（昭和23年）前原地区金武湾の地に「服装文化塾」として開校いたしました。

その後は、社会福祉に対するニーズの高まりを背景にして昭和60年、那覇市松山に「沖縄福祉保育専門学校」を設置開校、平成5年には、北中城村屋宜原に「ソーシャルワーク専門学校」を設置開校しました。現在、12000名を超える卒業生の多くが、沖縄の福祉を支える人財として活躍しております。

近年、全国の専修学校を取り巻く情勢は、少子高齢化の影響等も受け、ますます厳しさを増してきており、専修学校に対する社会のニーズも大きく変化してきています。以上の状況を踏まえ、学生に対する教育サービスの質・内容、社会へ即実践力となる人材として学生の育成ができているか等、専修学校のあり方について、常に学内外にて点検、協議、見直しが求められています。

以上の観点から、「平成28年度 自己点検、評価及び学校関係者評価」を実施させていただきました。今回の自己点検、評価の結果を踏まえ学校関係者皆さまのご意見・ご指導を賜りながら教職員一同、改善を図り、教育水準の向上に努めて参りたいと考えております。今後とも、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げるとともに、本学の建学の精神である「心は豊かに 技は確かに」のもと、これからも人々の福祉ニーズに応え得る、人材を養成する福祉の総合専門学校として、貢献してまいります。

自己点検・評価の方法

平成19年に施行された、学校教育法第42条の規定により自己点検・評価を実施する。

1. 学校法人大庭学園沖縄福祉保育専門学校における平成28年度自己点検・評価は、平成28年4月の「自己点検評価委員会」の発足により、「沖縄福祉保育専門学校 自己点検・評価委員会」を設置して、点検・評価を行うこととした。
2. 全国専門学校経営研究会版『自己点検・評価基準』を基に、本学園に適応した『自己点検・評価項目』を作成し、自己点検・評価委員会 が自己点検を行うこととした。
3. 各学科の自己点検・評価委員会から提出された自己点検の結果について、学園代表による「自己点検・評価委員会」が点検、確認し、評価を行った。
4. 評価結果に基づき今後の改善点の方向性を協議し、自己点検・評価報告書を作成し、理事長へ報告を行った。
5. 各学科は、自己点検・評価の結果を基に業務計画へ盛り込み、改善を図る

平成 31 年度（令和元年度） 自己点検評価及び学校関係者評価 報告書

【記入の方法について】

- ① 自己点検評価： 1 ～ 5 段階にて評価を行う。
- ② 目標達成状況： 各項目の達成状況について、記述にて回答する。
- ③ 学校関係者評価・提言： 学校関係者委員会にて、得られた評価、意見を要約し、記載する。
- ④ 次年度改善策： 学校関係者委員会にて、議論された内容を踏まえ、次年度に向けて学校側が改善を行う内容を記載する。

自己点検・評価実施日 令和元年 7月 3日（水）

学校関係者評価実施日 令和元年 8月 8日（木）

1. 教育理念・育成する人材像		自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況	
教育理念・育成する人材像が明文化されているか。	1	【学内】教育理念・育成する人材像が、「学習のしおり」に記載されているか。	4	4.4	学習のしおりに記載されている。
	2	【学内】教育理念・育成する人材像が教職員研修会資料に記載されているか。	4.2	3.8	記載されている。
	3	【学外】教育理念・育成する人材像がHP、パンフレット、募集要項等に記載されているか。	4.2	4.0	記載されている。
	4	各学科の修業期間における教育指導計画、人材育成像が明文化され、提示されているか。	4.2	3.4	進級しての新学期初めに目指す人材像を学生と共有している。
学校関係者評価	教育理念については、HP、学校パンフレット、学習のしおり等に記載するとともに、入学オリエンテーション、各授業内での念に基づく講義の展開がなされており、学生へ浸透していると判断できる。				

2. 教育の内容		自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況	
教育理念の達成に向けたカリキュラムの作成等の取組がされているか。	1	教育理念の達成に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	4.2	4.2	指導要領や科目配置・計画は実施されている。
	2	カリキュラム作成のためのカリキュラム作成委員会があるか。	3.4	3	部会単位で実施されている。合同協議の場がない
	3	カリキュラムを作成するに当たり、業界関係者等の外部関係者の意見を取り入れているか。	2.8	2.2	外部の講師からの意見を取り入れている。
	4	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	4.0	4.2	全科目にシラバスがある。講義要項の作成までには至っていない。
教育理念の達成に向けた教授学習プロセスの改善への取組みがされているか。	5	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	3.2	3	一律に実施されていない。
	6	授業改善のための組織的取組みが行われているか。	2.6	2.8	教職員研修会による学習や研究が実施されている。
教育理念の達成に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取組みがされているか。	7	企業・施設等での実習があるか。	4.8	4.4	施設実習がカリキュラムに入っている。
	8	キャリア教育を行っているか。	3.2	2.8	講話、就職支援は実施されているものの、キャリア形成に関する学習は多くはない。
	9	ビジネス教育を行っているか。	4.2	4	科目に含めて実施されている。
	10	コミュニケーション能力の向上に向けた取組を行っているか。	4.0	3.8	科目の学習において、プレゼンや報告の機会を設けている。
教育理念の達成に向け教員の資質の向上に向けた取組みがされているか。	11	専門性や指導力等の向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	4.2	4.2	県外での研修に参加している。
	12	教員の資質の向上のための、自己啓発への支援をしているか。	2.8	3	研修会など参加を推奨している。
	13	非常勤講師との定期的な情報共有のためのミーティング等を開催しているか。	3.6	3.4	講師会の開催、随時のリサーチは実施されている。
	14	非常勤講師からの報告書等が提出されているか。	3.2	2.8	成績報告を実施している。

学校関係者評価	カリキュラムを作成するにあたり、教育課程編成委員や実習指導者、外部講師の意見を柔軟に取り入れてく教育課程の充実に努めていることが評価できる。
---------	--

3. 教育の実施体制		自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況	
教育理念の達成に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織図があるか。	4.0	4.2	配布されている。
	2	学校の年間スケジュールがあるか。	3.8	4.2	学科ごとに実施されている。全体共有の書面はない。
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	4.8	4.4	図書室を設けている。閲覧・貸出ができる
	4	キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか。	4.2	3.6	担当窓口、支援コーナーは設置されている。
	5	喫煙に関する規定が文書化・提示されているか。	3.4	4	館内提示は実施されている。
	6	環境エコ活動（節電・ゴミ分別・節水等）に関する規定が文書化・提示されているか。	3.6	3.8	教室掲示や各場所でのポスターで周知している。
	7	学内の整理・整頓・清掃に関する規定が文書化されているか。	3.2	3.4	教室以外の演習室などに担当者を置き、常に整理整頓に努めている。
	8	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。	3.2	2.8	日直にてチェックされている。
	9	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	3.6	3.8	実施されてといるが十分ではない。
	10	学校生活（実習・行事・学外活動等）において保険に加入しているか。	4.8	5	学生の方が一に備え、保険に加入している。実習などにも対応。
	11	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか。	4.4	4.4	防災については年2回定期点検を行っている。消防署への報告も行っている。
	12	教育設備・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3.2	3.6	日直にてチェックされているが十分ではない。
学校関係者評価	防犯などの設備については徹底した点検をお願いしたい。				

4. 教育理念の達成度と教育効果		自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況	
教育理念の達成に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。	1	学生の就職に関する目標達成を設定したか。	4.0	4	活動目標を掲げ指導を行っている。
	2	学生の就職に関する目標は教職員に共有されているか。	3.6	3.8	部内でのみ共有していた。
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	3.0	3.2	活動の報告を受けたが、記録が行われていない。
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	3.6	3.2	報告は実施されているが、検証が未実施
	5	パンフレット、HP等において就職実績を公表しているか。	4.2	4.8	公表している。
	6	資格・検定に関する目標を設定したか。	4.4	4.6	実施されている。
	7	資格・検定に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	3.6	4	部内で共有していた。
	8	資格・検定に関して検証・報告がされたか。	3.4	3.8	報告は実施されているが、検証が未実施
	9	資格・検定の結果（合格者数・合格率）を公表しているか。	3.2	3.8	報告は実施されている。ホームページ上の公表は未実施
	10	進級率の目標を設定しているか。	3.0	3.4	100%（全員進級）が目標となっている。
	11	進級率に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	2.8	3	部内で共有していた。
	12	退学・休学に関して検証・報告がされたか。	3.8	3.8	判定委員会において検証が実施されている。
学校関係者評価	学生の目標設定をしつつ、未来像についての支援もお願いしたい。				

5. 学生支援		自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況	
教育理念の達成に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され、組織的に行われている	1	学校案内等に目指す資格・検定が明示されているか。	5.0	4.6	学校案内等に記載している。
	2	学校案内等に学費・教材費等が明示されているか。	4.6	4.8	募集要項に記載し、毎年掲載している。
	3	学校案内等に選抜方法が明示されているか。	4.8	5	募集要項に記載し、毎年掲載している。
	4	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	3.8	3.2	詳しい説明は担当制。1階部署においては対応するための理解が進んでいる。

か。(入学前)	5	学校説明会等による情報提供を行っているか。	4.6	4.6	毎年オープンキャンパスを行い情報提供している。
	6	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	5.0	4.4	入学後のオリエンテーションを行っている。
教育理念の達成に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(在学中)	7	担任による面談が定期的に行われているか。	4.6	4.6	年2回の履修指導に加え、適宜に学生との面談を行っている。
	8	担任は、適切に配置されているか。	4.4	4.8	担任、副担任を配置している。
	9	担任以外に学生のメンタルヘルスについて相談できる窓口が整備されているか。	4.4	2.4	教員からの情報をもとに部会で共有し支援している。今年度より「学生サポートセンターひだまり」を開設し学生支援を行っている。
	10	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があり、周知されているか。	3.8	3.4	各部会を通して内容を確認しあい、方向性を上司に報告し助言の場がある。
	11	学生の面談・相談記録があるか。	3.2	3.4	各担当で実施している。しかし、記録・入力管理は各担当で行っているための所定の保存場所などはない。
	12	定期的に健康診断を行っているか。	4.8	5	毎年行っている。
	13	奨学金制度等の経済的支援はあるか。	3.8	3.2	特待生制度がある。また、H31年度より学園独自の奨学金制度を設置している。
	14	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	3.6	3.8	必要時、学習相談及び面談を実施している。
教育理念の達成に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。	15	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	4.8	5	学園同窓会がある。
	16	卒業生への職業紹介をしているか。	3.2	3.8	問い合わせがあれば案内を行っている。
	17	卒業生の就業状況把握の為の定期的な訪問をしているか。	3.6	3.8	卒業後1年以内を目途に、職場への就職お礼訪問を行っている。
学校関係者評価	学生サポートセンターの設置で学生サポートができることは大変良い。				

6. 社会的活動			自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか。	1	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	3.8	4	学園及び学校より地域のまちづくり協議会へ参加している。
	2	教育資源(教職員の出張講座)を地域社会に提供しているか。	3.8	4	職業別講話や地域の中学校との交流会を行っている。
	3	学生の社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を奨励・支援しているか。	3.8	4.4	授業のねらいに含めて地域の自治会活動(敬老会)を実施している。その他CGG清掃活動を行っている。
学校関係者評価	地域との交流はぜひ今後も続けていきたい。				

7. 管理運営			自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況
学校の管理・運営体制が確立していること。	1	理事会が定期的開催されているか。	5.0	5	年に3回開催されている。
	2	評議員会が定期的開催されているか。	5.0	5	年に2回開催されている。
	3	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	5.0	5	月2回行っている。
	4	職務別業務分掌が文書化されているか。	3.8	3.6	文書化されている。
	5	人事考課制度は文書化されているか。	3.8	4.3	文書化されている。
	6	賃金制度は文書化されているか。	3.8	4.3	文書化されている。
	7	採用制度は文書化されているか。	3.4	4	学園諸規則があり文書化されている。
	8	防災対策に対して文書化・組織化されているか。	2.8	3.8	防災の文書化はされているが、組織化には課題がある。
	9	防災訓練・研修が定期的実施されているか。	2.6	3.4	防災の訓練実施に課題がある。
	10	個人情報保護規程が文書化されているか。	3.2	4.2	学校規定により文書化されている。

	11	セクシャルハラスメントに関する規定が文書化されているか。	2.8	3.8	学校規定により文書化されている。
	12	公印管理が適正にされているか。	4.4	4	適正に管理されている。
	13	勤務管理が適正にされているか。	4.2	4.2	適正に管理されている。
	14	各教職員の能力開発のための外部研修・研究へ派遣しているか。	3.8	4.8	学内・学外研修を行っている。
	15	教職員の健康診断がされているか。	5.0	5	年1回実施している。人間ドックを推奨している。
学校関係者評価	全国的に防災については意識を高めていこうという動きがあるので、ぜひ防災・防犯については訓練の場を設けていただきたい。				

8. 財務			自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況
財務体質が健全であり、財務運営が適切に行われているか。	1	年度予算、中期計画が策定されているか。	3.0	3	年度毎に作成されている
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	2.8	2.8	学園経営会議にて定期的に確認している。
	3	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書等にて明確化されているか。	3.3	4.3	報告は文書等にて明確化されている。
	4	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	3.3	4	ホームページにて情報公開
	5	備品及び車両に関する管理規程が文書化され、規定通りに管理されているか。	3.0	3.3	学校規定により管理されている。
	6	物品（消耗品、貯蔵品等）等の在庫管理をしているか。	3.3	4	担当者にて管理されている。
	7	施設設備（電気・ガス・水道・エレベーター）の保守・管理が定期的に行われているか。	4.0	4.3	担当者にて管理されている。
	8	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	3.8	4	担当者にて管理されている。
学校関係者評価	特になし				

9. 改革・改善			自己評価 30年度	自己評価 29年度	目標達成状況
教育理念の達成に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか。	1	自己点検・評価のための運用ルールが文書化されているか。	3.2	4	学則により文書化している。
	2	自己点検・評価の組織があるか。	3.4	4.2	自己点検を行っている。
	3	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	3.5	2.6	会議・委員会に資料として提示や、職員会にて報告を行う。
	4	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	3.0	2.4	評価結果について、全員周知には至っていない。
	5	自己点検・評価の結果に基づき計画的に改善を実施しているか。	2.4	2.4	改善に向けて進めている
	6	自己点検・評価報告書があるか。	2.6	2.3	ホームページにて情報公開
	7	自己点検・評価報告書が公表されているか。	2.4	2.5	ホームページにて情報公開
学校関係者評価	全職員に周知、共有していただきたい。				